

社会福祉法人 富士宮福祉会 事業所別 事業計画

(平成30年度)

番号	事業所名	添付資料
1	特別養護老人ホーム 星の郷	事業計画 (総合計画、処遇計画、年間スケジュール、研修(内・外部)等計画、会議・委員会構成図、会議等取組内容、給食、防災)
2	デイサービスセンター 星の郷	事業計画(年間行事計画)
3	居宅介護支援事業所 星の郷	事業計画
4	富士宮市中部地域包括支援センター	事業計画
5	生活支援ハウス 星の郷	事業計画
6	デイサービスセンター いちばん星	事業計画(年間行事計画)

平成30年度 総合計画 特別養護老人ホーム 星の郷

○ 施設運営

- ① 認知症になっても、その方らしい生活が送れるよう、認知症ケアのアセスメントツール(センター方式)等を利用し、入所者・家族の思いに気づき、思いに添ったケアができるよう多職種連携を図る。
- ② 利用者の方々が安心・安全に生活できるよう、感染症の発症、及び事故発生予防に努める。
- ③ 多職種が連携し、終末期ケアの充実を図る。
- ④ 家族・地域並びに関連機関等への情報公表として、当法人情報開示(内規)に定められた書類等をホームページや広報誌にて情報の開示を行う。
- ⑤ 介護保険関係法令及びその他の法令を遵守し、的確に事業運営が行われるよう周知徹底を図る。
- ⑥ 職員のスキルアップの為、勉強会・研修会等を計画し、サービスの質の向上を目指す。
- ⑦ 利用者の入退所を円滑に行い、施設入所基準に基づきを受け入れしていく。
- ⑧ 光熱水費の節減と消耗品等のコスト削減に努める。
- ⑨ 地域福祉活動・地域交流に努める。
- ⑩ 施設設備の維持管理と使用備品の見直し、改修、改善、導入に努め、安全な介護が提供できるよう努める。

○ 生活支援

- ① 入所者の状態に合わせた介護・入所者が求める介護の提供ができるよう、研修・勉強会等に参加し知識・技術の向上を図る。
- ② 会議・委員会により処遇の見直しを行い、問題点を見つけ改善に努める。
- ③ 家族会の開催、カンファレンス・連絡・相談等を随時行う事で、入所者・家族・職員の交流を図り、意見・要望等を把握し、ケアプランに反映していく。又、その方らしい生活が送れるよう多職種連携し、プランに沿ったサービスの提供ができるよう努める。
- ④ 入所者の要望等に応じ、様々なレクリエーションや行事等を企画し実行する。又、家族と入所者のふれあいの機会がもてるよう企画運営していく。
- ⑤ 日々の生活に満足して頂けるよう、入所者のアセスメントを行い、要望等を把握し対応に努める。

○ 安心、安全、快適な生活環境

- ① 安全管理指針に基づき、安心・安全・快適な生活環境を整えられるよう、リスクマネジメントの強化を図る。
- ② 入所者が心豊かに生活できるよう、整容・施設内外の環境整備に努める。
- ③ 災害からの生命の安全と財産の保全を確保するために、施設の安全点検及び防災訓練を積極的に実施し、予想されるあらゆる災害(地震・風水害・土砂災害等)の対策に万全を図る。
- ④ ユニットケアのできる構造をいかし、フロア毎の個性を入所者と共に作り上げ、安心安全に生活できる環境作りをしていく。
- ⑤ 感染症に対する知識・対応技術を習得し、感染症対策並びに感染予防対策を周知徹底する。
- ⑥ 同じ事故を繰り返さない為にも、ヒヤリ・ハット等を元に事例検討やカンファレンスを行い、その方の行動パターンの把握や予測ができる事で、個々にあった対応の見直しや環境等を整備し、事故の軽減に努める。

○ 身体拘束“0”への取組み

身体拘束について、全職員が共通の認識を持ち、身体拘束がない状態を維持する。また、身体拘束について施設内での研修を開催する。

○ 地域交流とボランティア受け入れ

- ① 地域に開かれた施設を目指し、地域福祉活動を積極的に行う。地域福祉活動を通して、地域とのつながりを維持し、施設行事へ参加して頂いたり、地域行事に参加していく。
- ② 各種ボランティア団体、幼児・学生及び地域住民等のボランティアの受け入れや地域交流の場への積極的な参加をしていく事で、入所者のコミュニケーションの場を拡大し、日常生活の活性化を図る。

今年度の重点目標

- あいさつ(接遇)とコミュニケーションの活性化
- 支援に対する創意工夫と柔軟な対応
- 事故の削減と感染症対策の充実

平成30年 処遇計画
特別養護老人ホーム星の郷 <ショートステイ星の郷>

○ 介護部門

【全体目標】

利用者本人がその人らしく自立した生活が送れるよう、多職種との連携を図り、よりよいサービスの提供ができるように努める。

また、サービスの質を上げて行く為にも、個々の職員のスキルアップの為、研修会・勉強会への参加や資格取得を目指し、介護の知識や技術の向上に繋げる努力をする。

【具体的な処遇計画】

■ 日常生活動作(食事・排泄・入浴・更衣・整容・移動)・ケアマネジメントについて

個々の利用者の状態をアセスメントし、その方にあった方法で介助できるように努める。また、定期的なモニタリングと半年毎のカンファレンス等ケアの見直しを行い、その時の状態に合わせた介護ができるよう努める。

個々に提供している介護を随時振り返り、求められる専門的技術や知識が提供できるように努める。

カンファレンスには、家族の参加を促すべく、参加して頂くことで、家族の思いや意向をプランに反映し、多職種で意見を出し合い立案したサービス計画に沿って介護を行う。

身だしなみに配慮した生活支援ができるよう努める。

日々の変化に気づく為にも、こまめに記録を残していく。また、他職種と情報共有していくことで、異常の早期発見・対応につなげていく。

■ 認知症ケアについて

認知症になっても、いつまでも自分らしく安心して過ごして(暮らして)頂けるように、認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式等のシートを活用したり、外部研修等に参加し、利用者・介護者の思いを知り、寄り添うケアができるよう介護技術等の向上を目指す。

また、今後中重度の障害・認知症の受け入れが多く求められてくるなか、個々のスキルをあげ、基本的な介護技術だけでなく、色々な種類の認知症の方に対応できるよう努める。

■ 生活環境について

フロア毎に生活しやすい環境(物の配置・清潔等)を作っていく。また、生活の質の向上を目指し、利用者を楽しめる日々を過ごして頂けるよう、行事やレクリエーション等の計画を立て、生活の満足につなげていけるように努める。

■ 感染症について

職員が感染の媒体にならないよう、自己管理を徹底していく。

感染症対策・予防対策を行う。また、知識や対応方法の習得に努める。

利用者の生活リズム、清潔、整頓、安全、衛生を考え、室内の温度や湿度、換気に配慮し良好な環境を整備する。

感染症発生時には、感染源の特定と対応策の徹底に努め、感染拡大を防止する。

■ 看取りケアについて

その方らしい最後を迎えられるよう、また、看取りケアの質向上の為にも、ケア実践に必要な外部研修に参加したり、施設内でも研修計画を立て、他職種連携しながら対応力の強化・専門性を身につけていく。

利用者・家族の願いや思いをくみ取り、命ある限り死の直前まで人として尊厳ある生を全うできるよう、また、安らかな最期を迎えられるよう支援していく。その為にも、カンファレンス・話し合いを行い、他職種連携し、日常的なケアの充実、精神的・身体的支援へと繋げていく。

■ ケア連携について

特別養護老人ホームにおける介護・看護職員等の多職種連携を行う。

■ 機能訓練について

その方らしい生活を維持して行くためにも、心身の状態が維持できるよう、機能訓練士による機能訓練の実施や他職種と連携して機能訓練・レクリエーション・趣味活動等を行っていく。

■ 身体拘束について

施設内では、身体拘束“0”に努める。

拘束せずに日常生活を送ってもらうことができるよう、身体拘束をする事によっておこる弊害を理解し、個々の状態把握を細かく行うことで、身体拘束に結びつきそうな原因を見つけ、対処していく。

■ リスクマネジメント

ヒヤリハット、事故報告書を定期的に見直し、検討していく等「PDCAサイクル」(P計画・D実行・C評価・A改善)を機能させ、同じ事故を繰り返さないようにしていく。又、少しの異変も敏感に感じとり、重大な事故につながらないように努める。

苦情等あれば、どのようなものであっても、真摯に受け止め誠意をもって対応する。

○ 看護部門

【目標】

健康状態の維持、一般状態の観察、合併症・褥瘡等の予防、服薬・投薬の管理、異常の早期発見、および主治医や病院への連絡体制を確立しスムーズな受診に繋げる。そこで、利用者の病状等に応じた対応が図れるよう、医療設備等補充を検討する。また、感染症の発症を防ぐ努力として、感染経路に応じた適切な対応を図る。

【健康診断等】

- 1) 健康診断
実施回数 : 年1回
対象者 : 入所者全員・職員全員
- 2) 腰痛検診
実施回数 : 年2回(6か月以内毎に1回)
対象者 : 介護・看護職員全員
- 3) インフルエンザ予防接種
実施回数 : 年1回
対象者 : 入所者全員・職員全員

【嘱託医等往診】

- 1) 内科医 : 毎週1回
- 2) 歯科医 : 毎週1回
- 3) 精神科医 : 毎月1回
- 4) 皮膚科医 : 毎月2回

【日々の健康管理】

- 1) 体温測定 : 要観察者は 6時・10時30分・15時30分・20時 に測定
入浴者は 9時・13時 に測定
- 2) 体重測定 : 毎月1回
- 3) 血圧測定 : 要観察者は 6時・10時30分・15時30分・20時 に測定
入浴者は 9時・13時 に測定

【具体的な計画】

- 1) 生活援助について
生活状態を把握しADLの維持ができるよう、自立支援に努め、安全・安楽で尊厳ある生活支援を行う。
異常の早期発見ができるよう、他職種と連携し情報の共有と個々の現状の把握に努める。
- 2) 生活環境の整備について
明るく、清潔な環境(室温、湿度、換気、清掃)に気を配り、転倒予防に努める。 感染症の集団発生を防ぐ為、施設内の設備整備を積極的にを行い、感染対策並びに予防対策を職員に周知徹底させる。
- 3) 他職種とのケア連携を図る
入所者の可能性を最大限に引き出し、生きる喜びをもたらすような対応、精神的な衰退に対するケアを積極的に行う。又、出来る限り入所者が入院する事が無いよう、事故防止や感染症予防を多職種連携した健康管理を行う。
医学知識向上のため、文献整備及び研修会への参加に努め、他職種への勉強会(疾患及びそれに関する対応の仕方について)を開催していく。
特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携・協働による医療的なケアの在り方として、たん吸引等の取り扱いについての研修会(フォローアップ研修等)を行う。
看取り期におけるケアの判断と対応については指導的役割を担っており、看取りケアの質の向上の為に、研修会等へ参加し知識・技術の向上に努める。また、看護職員を中心に他職種と連携・協働し、「死生観」の育成や勉強会を開催していく。
- 4) 家族との対応について
ADL低下に伴う身体異常の早期対応、家族への報告を行い、家族の意向に沿った看護を行う。

平成30年度 星の郷年間スケジュール（上半期）

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 (日)		1 (火)	集団リハ 感染症	1 (金)		1 (日)		1 (水)	リスク	1 (土)	
2 (月)	委員長連絡会	2 (水)	リスク	2 (土)		2 (月)		2 (木)	リーダー 傾聴ボラ	2 (日)	
3 (火)	集団リハ	3 (木)	憲法記念日	3 (日)		3 (火)	集団リハ 感染症	3 (金)	花火大会	3 (月)	委員長連絡会
4 (水)		4 (金)	みどりの日	4 (月)		4 (水)	リスク	4 (土)		4 (火)	集団リハ 感染症
5 (木)	傾聴ボラ	5 (土)	こどもの日	5 (火)	集団リハ 感染症	5 (木)	リーダー 傾聴ボラ	5 (日)		5 (水)	リスク
6 (金)	売店	6 (日)		6 (水)	リスク	6 (金)	売店	6 (月)		6 (木)	リーダー 傾聴ボラ
7 (土)		7 (月)		7 (木)	リーダー 傾聴ボラ	7 (土)		7 (火)	集団リハ 感染症	7 (日)	売店
8 (日)		8 (火)	集団リハ	8 (金)	売店・防災	8 (月)		8 (水)	ケア	8 (土)	
9 (月)	床屋	9 (水)	ケア オムツ勉強会	9 (土)		9 (月)	床屋 書道	9 (木)	ケア連携・	9 (日)	
10 (火)	集団リハ 感染症	10 (木)	ケア連携・リーダー 傾聴ボラ	10 (日)		10 (火)	集団リハ 健康診断予定	10 (金)	防災 売店	10 (月)	床屋 書道
11 (水)	リスク	11 (金)	売店・防災 検便回収	11 (月)	床屋	11 (水)	ケア 健康診断予定	11 (土)	山の日	11 (火)	集団リハ
12 (木)	ケア連携	12 (土)		12 (水)	集団リハ	12 (金)	ケア連携・	12 (日)		12 (木)	ケア
13 (金)	防災 検便回収	13 (日)	母の日	13 (木)	ケア	13 (土)	防災 検便回収	13 (月)	床屋	13 (水)	ケア連携
14 (土)		14 (月)	床屋	14 (水)	ケア連携	14 (金)		14 (火)	集団リハ	14 (日)	防災 検便回収
15 (日)		15 (火)	集団リハ 検便締切日	15 (金)	検便回収	15 (月)		15 (木)	広報・ボラ	15 (土)	
16 (月)	書道	16 (水)	広報・ボラ	16 (土)		16 (日)	海の日	16 (火)	NS連絡会	16 (木)	
17 (火)	集団リハ 検便締切日	17 (木)	リーダー・サブ会 NS連絡会	17 (日)	父の日	17 (火)	集団リハ 検便締切日	17 (金)	検便回収	17 (月)	敬老の日
18 (水)	ケア	18 (金)		18 (月)	委員長連絡会 書道	18 (水)	広報・ボラ	18 (土)		18 (火)	集団リハ 検便締切日
19 (木)	傾聴ボラ NS連絡会・リーダー	19 (土)		19 (水)	集団リハ 検便締切日	19 (金)	リーダー・サブ会 NS連絡会・傾聴ボラ	19 (日)		19 (木)	広報・ボラ
20 (金)	広報・ボラ	20 (日)		20 (木)	広報・ボラ	20 (土)	売店	20 (月)	委員長連絡会	20 (水)	リーダー・サブ会 NS連絡会・傾聴ボラ
21 (土)		21 (月)	委員長連絡会 書道	21 (水)	傾聴ボラ NS連絡会	21 (金)		21 (火)	集団リハ 検便締切日	21 (日)	売店
22 (日)	春の園遊会	22 (火)	集団リハ	22 (金)	売店	22 (月)		22 (木)		22 (土)	
23 (月)	床屋 園遊会反省会	23 (水)	オムツ勉強会	23 (土)		23 (日)	委員長連絡会 床屋	23 (火)	傾聴ボラ	23 (木)	秋分の日
24 (火)	集団リハ 事業所会議・全体集会	24 (木)	傾聴ボラ	24 (日)		24 (火)	集団リハ	24 (金)	売店	24 (月)	振替休日
25 (水)	お料理クラブ	25 (金)	売店	25 (月)	床屋	25 (水)	お料理クラブ	25 (土)		25 (火)	集団リハ 事業所会議・全体集会
26 (木)		26 (土)		26 (水)	集団リハ 事業所会議・全体集会	26 (金)		26 (日)		26 (木)	お料理クラブ
27 (金)	売店	27 (日)		27 (木)	お料理クラブ	27 (土)		27 (月)	床屋	27 (水)	
28 (土)		28 (月)	床屋	28 (水)		28 (金)		28 (火)	集団リハ 事業所会議・全体集会	28 (日)	
29 (日)	昭和の日	29 (火)	集団リハ 事業所会議・全体集会	29 (金)		29 (月)		29 (木)	お料理クラブ	29 (土)	
30 (月)	振替休日	30 (水)	お料理クラブ	30 (土)		30 (日)		30 (火)		30 (木)	
		31 (火)				31 (水)	集団リハ 事業所会議・全体集会	31 (金)			
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
行事) 園遊会		行事) お茶会		行事) 運動会		行事) 七夕		行事) 花火大会		行事) 敬老会	
レク) 女子会		レク) 男子会		レク) 女子会		レク) 男子会		レク) 女子会		レク) 男子会	
レク) 男子会		研) 全体研修 (研) 全体研修 (研) 全体研修 (研) 全体研修 (研) 全体研修 (
防) 避難誘導・消化訓練		研) 全体研修 (マットレス運び)		研) 除圧 (モルテン)		研) 全体研修		防) 避難誘導・消化訓練		研) 全体研修	
研) 全体研修 (感染症・インフルエンザ)		防) 避難誘導・消化訓練		防) 防火訓練		研) スキルUP (夜間時の緊急対応)		傾聴ボラランティイ (10時～12時)		防) 避難誘導・消化訓練	
傾聴ボラランティイ (10時～11時)		傾聴ボラランティイ (10時～11時)		傾聴ボラランティイ (10時～11時)		傾聴ボラランティイ (10時～11時)				傾聴ボラランティイ (10時～11時)	
				研) 真夏職下 (13:30～14:30)							
休み) 10日		休み) 10日		休み) 10日		休み) 10日		休み) 10日		休み) 10日	

平成30年度 星の郷年間スケジュール（下半期）

10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 (日) 開所16周年 床屋	1 (木) リーダー	1 (土)	1 (金) 元日	1 (金)	1 (金)
2 (火) 集団リハ 感染症	2 (金)	2 (日)	2 (土)	2 (土)	2 (土)
3 (水) リスク	3 (土) 文化の日	3 (月) 床屋	3 (日)	3 (日)	3 (日)
4 (木) リーダー	4 (日)	4 (火) 集団リハ 感染症	4 (金) ショート送迎開始 デイ開始	4 (月)	4 (月)
5 (金) 売店 傾聴ボラ	5 (月) 床屋	5 (水) リスク	5 (土) 居室開始	5 (火) 集団リハ 感染症	5 (火) 集団リハ 感染症
6 (土)	6 (火) 集団リハ 感染症	6 (木) リーダー 傾聴ボラ	6 (日)	6 (木) リスク	6 (木) リスク
7 (日)	7 (水) リスク	7 (金) 売店	7 (月) 七草 床屋	7 (木) リーダー	7 (木) リーダー
8 (月) 体育の日	8 (木) ケア連携・ 傾聴ボラ	8 (土)	8 (火) 集団リハ 感染症	8 (金) 防災 売店	8 (金) 防災 売店
9 (火) 集団リハ	9 (金) 防災 売店	9 (日)	9 (水) リスク	9 (土)	9 (土)
10 (水) ケア	10 (土)	10 (月)	10 (木) ケア連携・リーダー	10 (日)	10 (日)
11 (木) ケア連携・	11 (日)	11 (火) 集団リハ	11 (金) 防災・売店 検便回収	11 (月) 建国記念日	11 (月) 床屋
12 (金) 防災 検便回収	12 (月)	12 (水) ケア	12 (土)	12 (火) 集団リハ 床屋	12 (火) 集団リハ
13 (土)	13 (火) 集団リハ	13 (木) ケア連携・	13 (日)	13 (水) ケア	13 (水) ケア
14 (日)	14 (水) ケア	14 (金) 防災 検便回収	14 (月) 成人の日	14 (木) ケア連携・	14 (木) ケア連携
15 (月) 委員長連絡会 床屋	15 (木) リーダー・サブ会 NS連絡会	15 (土)	15 (火) 集団リハ 検便締切日	15 (金) 検便回収	15 (金) 検便回収
16 (火) 集団リハ 検便締切日	16 (金) 検便回収	16 (日)	16 (水) ケア	16 (土)	16 (土)
17 (水) 広報・ボラ	17 (土)	17 (月) 委員長連絡会 床屋	17 (木) リーダー・サブ会 NS連絡会	17 (日)	17 (日)
18 (木) 傾聴ボラ NS連絡会	18 (日)	18 (火) 集団リハ・検便締切日 事業所会議・全体集会	18 (金)	18 (月) 委員長連絡会	18 (月) 委員長連絡会
19 (金) 売店	19 (月) 委員長連絡会 床屋	19 (水) 広報・ボラ	19 (土)	19 (火) 集団リハ 検便締切日	19 (火) 集団リハ 検便締切日
20 (土)	20 (火) 集団リハ 検便締切日	20 (木) 傾聴ボラ NS連絡会	20 (日)	20 (水) 広報・ボラ	20 (水) 広報・ボラ
21 (日)	21 (水) 広報・ボラ	21 (金) 売店	21 (月) 委員長連絡会 床屋	21 (木) NS連絡会	21 (木) 春分の日
22 (月)	22 (木) 売店 傾聴ボラ	22 (土)	22 (火) 集団リハ	22 (金) 売店	22 (金) 売店
23 (火) 集団リハ	23 (金) 勤労感謝の日	23 (日) 天皇誕生日	23 (水) 広報・ボラ	23 (土)	23 (土)
24 (水)	24 (土)	24 (月) 振替休日	24 (木)	24 (日)	24 (日)
25 (木)	25 (日)	25 (火) 集団リハ	25 (金) 売店	25 (月) 床屋	25 (月) 床屋
26 (金)	26 (月)	26 (水)	26 (土)	26 (火) 集団リハ 事業所会議・全体集会	26 (火) 集団リハ 事業所会議・全体集会
27 (土)	27 (火) 集団リハ 事業所会議・全体集会	27 (木)	27 (日)	27 (水)	27 (水) お料理クラブ
28 (日) 星の郷祭り	28 (木) お料理クラブ	28 (金) 居宅お休み	28 (月)	28 (木)	28 (木) リーダー・サブ会 NS連絡会
29 (月) 床屋 星の郷祭り反省会	29 (火)	29 (土) ショート送迎終了	29 (水) 集団リハ 事業所会議・全体集会		29 (金)
30 (火) 集団リハ 事業所会議・全体集会	30 (金)	30 (日)	30 (木)		30 (土)
31 (水)		31 (月) デイお休み	31 (火)		31 (日)
備考	備考	備考	備考	備考	備考
行事) 星の郷祭り レク) 女子会	行事) 紅葉見学	行事) 忘年会	行事) 新年会	行事) 節分	行事) 雛祭り
研) 全体研修 (冬季感染症・防災)	レク) 男子会	研) 全体研修		研) 全体研修	防) 避難誘導・消化訓練
防) 避難誘導・消化訓練	研) 全体研修 防) 防災訓練	防) 避難誘導・消化訓練	他) 福祉作品展提出 研) 全体研修	防) 避難誘導・消化訓練	傾聴ボランティア (10時～11時) 年度末報告
傾聴ボランティア (10時～11時)	傾聴ボランティア (10時～11時)	傾聴ボランティア (10時～11時)	防) 避難誘導・消化訓練	研) 摂食嚥下 (13:30～、14:30～)	
研) 摂食嚥下 (13:30～、14:30～)	傾聴ボランティア (10時～11時)		傾聴ボランティア (10時～11時)		
休み) 10日	休み) 10日	休み) 10日	休み) 1 1日	休み) 9日	休み) 10日

平成30年度 研修計画(内・外部) 予定

	内 部 研 修 計 画	予 定 日	…	…	外 部 研 修 計 画	予 定 日	…	…
4月	・ 全体研修 →				・			
	・ デイ星の郷 → 身体拘束・スピーチロック				・			
	・ デイいちばん星 → 総合事業について				・			
	・ →				・			
	・ →				・			
	・				・			
	・				・			
5月	・ 全体研修 → マットレスの選び方				・ 高齢者施設のリスクマネジメント講座	10		
	・ デイ星の郷 → 食中毒と嘔吐処理				・ 接遇・マナー・コミュニケーション講座	8		
	・ デイいちばん星 → 食中毒と嘔吐処理				・ 感染症講座(初級編)	23		
	・ ケア → オムツの勉強会	9			・ 認知症の人のためのレクリエーション	31		
	・ ケア → オムツの勉強会	23			・ 福祉職員キャリアパス対応 中堅職員研修	28		
	・ →				・ コンプライアンス講座	15		
	・ →				・ アンガーマネジメント講座	19		
6月	・ 全体研修 →				・ 認知症介護実践者研修			
	・ デイ星の郷 → 排泄介助				・ 介護技術講座(基礎編)	7・8		
	・ デイいちばん星 → ケアプラン・介護記録				・ 認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	6		
	・ ケア → 摂食嚥下(ニュートリー)				・ 指導者の為の接遇マナーと部下指導のポイント講座	1		
	・ →				・ 権利擁護・成年後見セミナー(基礎編)	25		
	・ →				・ 福祉職員キャリアパス対応 中堅職員研修	11・12		
	・ →				・ 福祉職員キャリアパス対応 チームリーダー研修	19		
7月	・ 全体研修 →				・ 権利擁護・成年後見セミナー(実務編)	18		
	・ デイ星の郷 → 認知症				・ 福祉職員キャリアパス対応 チームリーダー研修	5・6		
	・ デイいちばん星 → 介護記録・モニタリング				・ 認知症と高齢者の精神症状の理解	31		
	・ ケア → オムツの勉強会				・ 介護職が知っておきたい高齢者の褥瘡・皮膚ケア講座	20		
	・ ケア → オムツの勉強会				・ 介護技術講座(実践編)	11・12		
	・ →				・ コーチング研修	3		
	・ →				・			
8月	・ 全体研修 →				・ 職場研修のつくり方講座	6		
	・ デイ星の郷 → 移動・移乗介助				・ 介護・看護リーダーの指導力向上講座	23		
	・ デイいちばん星 → 機能維持体操				・ 福祉職員キャリアパス対応 初任者研修	29		
	・ →				・			
	・ →				・			
	・ →				・			
	・ →				・			
9月	・ 全体研修 →				・ ターミナルケア入門講座	3		
	・ デイ星の郷 → リスクマネジメント(事例検討)				・ 介護職の為の薬の基礎知識	20		
	・ デイいちばん星 → 事例検討会①				・ 共感を得る「ことば」講座	21		
	・ ケア → オムツの勉強会				・ 認知症のBPSDを考えるセミナー	25		
	・ ケア → オムツの勉強会				・ 福祉職員キャリアパス対応 初任者研修	12・13		
	・ →				・ 介護・看護リーダーの指導力向上講座	27		
	・ →				・ 認知症の方に心地よい介護技術	26		

10月	・ 全体研修 → 冬季感染症・防災			・ 福祉職場のストレスマネジメント講座	23		
	・ デイ星の郷 → 感染症予防と嘔吐処理			・ 生活場面から見る利用者の身体観察のポイント	19		
	・ デイいちばん星 → 感染症予防と嘔吐処理			・ 感染症講座(中級編)	30		
	・ ケア → 摂食嚥下(ニュートリー)			・ 精神疾患の理解	2		
	・ →			・ フットケア講座	3		
	・ →			・ スーパービジョン講座	9		
	・ →			・ 楽しく笑顔になれるレクリエーション	16		
	・ →			・ 会議をよくするファンリテーション講座	15		
	・ →			・ 介護・看護リーダーの指導力向上講座	25		
	・ →			・ 福祉職員キャリアパス対応 初任者研修	31		
11月	・ 全体研修 →			・ 福祉職場のチーム力向上講座	5		
	・ デイ星の郷 → スピーチロック			・ 快適なシーティング	6		
	・ デイいちばん星 → 移乗・移動介助			・ 車椅子のメンテナンスセミナー	30		
	・ ケア → オムツの勉強会			・ 介護・看護リーダーの指導力向上講座	12		
	・ ケア → オムツの勉強会			・ 口腔ケア講座	19		
	・ →			・ 福祉職員キャリアパス対応 初任者研修	15-16		
12月	・ 全体研修 →			・ 福祉職員のためのヒヤリハット・アクシデントセミナー	22		
	・ デイ星の郷 → コンプライアンス						
	・ デイいちばん星 → 入浴介助						
1月	・ 全体研修 →						
	・ デイ星の郷 → 医療知識						
	・ デイいちばん星 → リスクマネジメント(事例検討)						
2月	・ 全体研修 →						
	・ デイ星の郷 → 人権擁護						
	・ デイいちばん星 → スピーチロック・身体拘束						
3月	・ 全体研修 →			・ 福祉施設の災害対策講座	未定		
	・ デイ星の郷 → リスクマネジメント(事例検討)						
	・ デイいちばん星 → オムツの勉強会						
	・ →						
年間	・ →			・ 認知症介護基礎研修	未定		
	・ →			・ 「食」の研修	未定		
	・ →			・ 利用者を癒すタッチケア	未定		
	・ →			・ ボランティアコーディネーター研修	未定		
	・ →			・ 相談員の為の支援力アップ講座	未定		
	・ →			・ お年寄りの安眠の法則	未定		
	・ →			・ 介護記録の書き方・活かし方講座	未定		
	・ →			・ 高齢者の転倒予防講座	未定		
	・ →			・ 介護現場における高齢者虐待防止	未定		
	・ →			・ 福祉サービス苦情解決研修会			
	・ →			・ 入居家族とのよりよい関係づくり講座	未定		
	・ →			・ 看護職員研修	未定		
	・ →			・ 生活支援コーディネーター養成研修	未定		
・ →			・ ボランティア活動推進セミナー	未定			
・ →			・ 福祉職のためのリフレッシュ講座	未定			

会議・委員会構成図

感染症対策本会議・身体拘束廃止本会議・事故対策本会議

※ 事故対策委員会は、安全管理指針による。

理事長、本部長、主治医、会議参加者

給食・防災・事業所会議(安全衛生含む) (最終週火)

施設長、主治医、副施設長、在宅部長、事務長、事業部・施設課長、看護課長

特養介主任、特養介副主任、特養相談員・ケアマネ、管理栄養士、ショート、デイ、地域包括、居宅、いちばん星デイ

ケア連携	(※たん吸引等含む)
(1回/月)	
施設長・主治医・施設課長・看護課長・ 特養主任・副主任・相談員・ケアマネ・ 管理栄養士	

事例検討会	看護師連絡会	事業所間 連携	リーダー会議等(第1木・第3木)					委員長連絡会(第1or3・月)										
			NS・CW主任・副主任・各リーダー・相談員					ケア(食事)	リスク	感染症	防災	広報・ボラ						
毎月	毎月 第3木						長											
		日程は 会議で	AB	CD	EF	GH	デイ	デイ	ケア	リスク※1	感染症	防災	広報・ボラ					
相談員		各事業所	A B 所属職員	C D ・ シ ョ ー ト 所 属 職 員	E F 所 属 職 員	G H 所 属 職 員	デイ 星 所 属 職 員	デイ い ち 所 属 職 員	第2水曜日	第1水曜日	第1火曜日	第2金曜日	第3水曜日					
ケアマネ		相談員							AB									
		又は							CD									
		介護・看護							EF									
		リーダー等							GH									
		が参加し							NS									
		連携を							デイ									
		図る																

※1 リスク委員会には、身体拘束も含まれる。

【会議・委員会等の取組み内容】

会議・委員会名	内 容	内部研修・勉強会等
感染症対策本会議	施設内の感染予防のための対策を立案し推進する。施設内の職員への伝達と周知。	感染症予防研修
身体拘束本会議	身体拘束”0”へ向けての取り組みや体制作り。	人権擁護研修・リスクマネジメント研修
事故対策本会議	安全管理指針にしたがい、法人内の安全管理に関する事や重大事故が発生した場合に開催。	事例検討会
事業所会議 (安全衛生含む)	事業計画に基づき各事業所からの報告・相談等。各事業所間の情報共有。 事業運営の見直し・検討。各事業所の現状把握と今後の対応。	
給食会議	利用者の為の食事提供に関する、施設と委託業者との意見交換等。 食事検討会。給食運営全般の方針の決定。	
防災会議	地震・火災・風水害・その他の災害にに対処するため、防災訓練並びに災害時の対応についての検討。	
全体集会	辞令の交付。グループ討議。委員会・事業所からの取り組み(課題等)の報告。全体研修(勉強会)等。	人権擁護研修・介護の知識と技術研修 虐待・身体拘束防止研修
フロア会議	業務の見直し・検討。利用者に対するケアの統一。	介護技術
ケアカンファレンス	ケアプランの評価・検討・見直し。(家族参加有)	
リーダー会議	各フロアからの報告・連絡・相談。今後の方向性の検討・見直し等。 各委員会と連携を強化し職員のスキルアップ(サービスマナー、介護技術の向上等)を図る。	リーダー研修 スキルUP研修
リーダー・サブ会議	リーダー・サブの連携を強化し、チーム力の向上を図る。	OJT研修・リーダー研修
チューター会議	新人職員と新人指導者の指導・育成。	チューター研修
ケア連携	多職種間の業務連携。	
事業所間連携	法人内サービス(在宅・施設等)の横の連携を強くし、サービスの質の向上を目指す。 また、職員の意見交換等を行い、個々のスキルアップにつなげる。	
委員長連絡会	委員会同士の連絡・報告・連携調整。勉強会の共同開催。	
事例検討会	居室・施設等のケース検討会。相談員・ケアマネのスキルアップ。	
ケア委員会	日常生活支援(食事・入浴・排泄・環境・生活等)のサービスの質を見直し、向上に努める。①その方にあった排泄介助(誘導・オムツ等)②安全な食事の提供(食事形態・姿勢・椅子・テーブルの高さの見直し含む)等。③安心して過ごせる生活空間(環境)。ケアプランに添った支援。マニュアルの見直し。 — 勉強会の開催(例) — 介護記録の書き方・活かし方。コミュニケーション技法。介護技術。 食事介助。オムツ勉強会。陰部洗浄勉強会。接遇マナー。ケアプラン。	オムツ勉強会(年3回) 陰部洗浄勉強会(年2回) 嚥下勉強会(年2回) 糖尿病・高齢者の栄養(褥瘡)勉強会 接遇研修・ケアプラン勉強会 ポジショニング・コミュニケーション技法 食事介助研修
リスク・身体拘束委員会	事故原因の追究と利用者の状態把握(アセスメント)をすることで、再発防止に努める。 また、ヒヤリ・ハットを生かせるよう取り組んでいく。 身体拘束”0”に向け、随時対応を見直し、取り組みを行っていく。 マニュアルの見直し。 — 勉強会の開催(例) — 移乗・移動・身体拘束・認知症ケアの勉強会。介護技術。事故事例検討。 センター方式勉強会。体位変換。ケアプラン。	資格試験勉強会 介護技術勉強会(年2回) 認知症勉強会(年2回) 事故予防勉強会 事例検討会 その他 リスクマネジメント部門 年間研修計画参照
感染症委員会	職員が媒体にならないように知識をひろめ、感染予防に努める。 マニュアルの見直し。環境整備(居室・フロア等の清掃含む)・定期点検。 — 勉強会の開催(例) — 嘔吐処理の勉強会。感染症予防基礎知識勉強会	嘔吐処理確認(年4回) 感染症基礎知識勉強会(年2回)
防災委員会	防災訓練等の計画・立案及び、防災意識向上を目的とした職員及び利用者に対する防災教育を実施する。	防火・防災訓練
広報・ボランティア委員会	施設内で行われている活動等を外部に発信。又、地域交流を積極的に行う。	
その他	サービスの質の向上 実習・研修生の受け入れ(学校・施設等) 介護保険・老人福祉法 医療(疾患等の理解)・たん吸引等	交流研修・新人研修・介護技術 実習指導・接遇マナー 病気と障害の理解 年代別研修・ケアプラン研修 介護保険・社福の理解

平成30年度給食について事業計画
特別養護老人ホーム 星の郷
ショートステイ星の郷 ・ デイサービスセンター 星の郷 ・ いちばん星

【栄養・調理業務方針】

健康の保持と季節感や五感で楽しめるおいしい食事の提供を目指す。又、介護食と言われる食事についての知識・技術力習得に努める。

また、ショートステイ・デイサービス利用者の食事についても、同様に実施する。

なお、入所者については、「栄養ケアマネジメント」に基づく栄養管理の充実を図り、栄養ケア計画書の作成管理を進める。

1. 安全な食事の提供

① 食中毒を防ぎ、安心して食事が出来るよう努める。

- ・ 調理の仕事は、入所者の尊い生命を預かっていることを自覚し、調理室の清潔を保つ。
- ・ 食事介助等に携わる職員は、清潔な身支度を整え、衛生的な食品の扱いについて知識を深め、併せて自己の健康管理に努める。
- ・ チェック表を活用し、衛生管理を徹底する。

2. 健康の維持と疾病の予防、治療

① 施設の栄養所要量に基づく献立により、健康の維持を図る。

② 嚥下障害などにより、食事摂取困難な利用者の食事に工夫を凝らし、バランスのとれた食事を提供する。

③ 機能低下に合わせた食形態の充実を図り、健康の維持と疾病の予防に努める。

④ 医師の指示による治療食、風邪などにより日常の食事が食べられない時に対応する応急食、栄養を補うための捕食等を充実し、疾病の悪化防止と回復に努める。

⑤ 治療食を必要とする人が偏った食嗜好を持つ場合は、栄養素について説明する機会を設けることにより、栄養に関心をもっていただき、健康維持に役立てていただく。

3. 生活に豊かさと満足感を味わえるような食事の提供

① 嗜好を把握する

- ・ 嗜好・残菜状況等を把握し、献立に反映させることで喫食率の向上を図る。
- ・ 定期的に希望献立・日常の食事についての意見を聴き、要望を取り入れるように心がける。

② 行事食の充実

- ・ 食生活に変化を持たせるものとして、季節の行事食や給食レクリエーションを充実する。
- ・ 四季折々の行事を盛り込んだ行事食を、メニュー内容とともに、メッセージカードを添えるなど視覚への演出も凝らし行う。
- ・ 選択メニュー・デモクッキングなどを、可能な限り取り込んで日々の生活を充実させることに努める。
- ・ 利用者の出身地にちなんだ郷土料理を提供することにより、食生活に変化をもたせるように努める。

4. 栄養ケアマネジメントの実施

① 食事中の巡回指導に努め、ケアプランの策定に生かしていく。

② 食事内容に変更があった場合は、速やかに情報提供を行い、ケアプランの見直しを図る。

5. 委託会社との連携を充実させる

① 非常時の対応や日常業務などについて意見交換を行い、業務の質向上に努める。

② 内部研修を推進し、安全で満足感の高い食事を提供できるよう努める。

平成30年度給食行事食 事業計画
特別養護老人ホーム 星の郷
ショートステイ 星の郷 ・ デイサービスセンター 星の郷

【目的】 利用者に暦行事・施設の行事と併せ、その行事に合った食事を提供することで、季節を感じていただき、楽しみにしていただける給食を目指す。

前 期			
月	日	暦行事・イベント名等	行事内容
4月	3日	ひな祭り	行事献立 カード
	8日	はなまつり	
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お花見会	昼食を弁当箱に詰めて提供
	30日	お料理クラブ	
5月	2日	八十八夜	茶飯 カード
	5日	こどもの日	行事献立 カード
	13日	母の日	お赤飯 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	遠足	昼食を弁当箱に詰めて提供
	30日	お料理クラブ	
6月	17日	父の日	お赤飯 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	運動会	あんぱん
	27日	お料理クラブ	
7月	7日	七夕	七夕そうめん カード
	20日	土用の丑	うなぎ カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	25日	お料理クラブ	
8月	3日	七夕・花火大会	行事献立 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	29日	お料理クラブ	
9月	17日	敬老の日	行事献立 カード
	23日	秋分の日	おはぎ カード
	24日	十五夜	行事献立 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	26日	お料理クラブ	

後 期			
月	日	暦行事・イベント名等	行事内容
10月	1日	創立記念日	行事献立
	8日	体育の日	行事献立 カード
	21日	十三夜	行事献立 カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	敬老会・星の郷祭り	
	31日	ハロウィン	行事献立 カード
11月	15日	七五三	行事献立 カード
	23日	勤労感謝の日	お赤飯 カード
	未定	紅葉狩り	昼食を弁当箱に詰めて外出
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	未定	お料理クラブ	
	28日	お料理クラブ	
12月	7日	忘年会	握り寿司
	22日	冬至	南瓜料理 カード
	25日	クリスマス会	行事献立 カード
	31日	大晦日	年越しそば 天ぷら
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
1月	1日	お正月	おせち料理 祝箸 カード
	7日	七草	七草粥 カード
	11日	鏡開き	おしるこ カード
	14日	成人の日	お赤飯 カード
	未定	新年会	行事献立
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
2月	3日	節分	行事献立 カード
	14日	バレンタイン	チョコレートケーキ カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
3月	3日	ひな祭り	行事献立 カード
	21日	春分の日	ぼたもち カード
	未定	お楽しみおやつ会	おやつ作り
	27日	お料理クラブ	

実施日については、皆様の状況等により月毎に決定していきます。
また、皆様の要望等により随時増やしていきます。

平成30年度 防災訓練・災害対策 事業計画
特別養護老人ホーム 星の郷
ショートステイ・デイサービスセンター 星の郷・いちばん星

○ 目的

利用者・入所者及び職員の安全確保の為に、地震、火災、風水害等の災害を物心両面にわたって予防し、人的・物的災害を軽減するために消防計画の整備を行い、次の通り対策及び防災訓練等を実施する。

○ 具体的対策・訓練

1 職員・利用者参加による防災訓練の実施

- ・ 通報訓練 年3回訓練
- ・ 消火訓練 年10回(消火器並びに消火栓を含めた訓練・点検)
- ・ 避難誘導訓練 年12回(事業所、各フロア毎に実施)
- ・ 総合訓練 年2回(非常災害を想定した訓練を実施する)
- ・ 非常連絡網における招集訓練の実施(全職員対象)
また、初動体制を確立し、災害を想定して対応が図れるよう、防災委員が中心となって推進する。

2 職員の防災知識並びに防災意識の高揚を図るため定期的に防災教育を実施。

3 非常災害対策として、地震、火災、風水害等の想定される非常災害に対する具体的計画(マニュアル)の定期的な見直しを行い、職員に周知する。

4 防火設備、消火設備等の定期点検の実施

5 災害発生後も途切れることなく、サービスを安定的に提供できるように、事業継続計画の策定を行い、必要資源(人員、設備、資機材等)や対策を事前に定めて災害発生後の業務継続を図る。

6 富士宮市災害時の応援協定に従い、市と災害時応援協定締結者での情報伝達訓練を行い、災害対応のための連携強化を図る。

1) 社会福祉施設として、地域の要援護者の救済を目的とした体制作りの為、地域の組織形成の確立として以下の関係者と共に協力をしていく

- ・ 富士宮市
- ・ 防災関係者(消防団等)
- ・ 民生児童委員
- ・ 地域代表者及び役員等(区役員、老人会、婦人会等)

2) 地域住民の受け入れ範囲の検討

3) 地域における避難を必要とする要援護者の把握等

7 震災対策とし、非常防災用具並びに備蓄飲食料の見直しを行う。

また、物資の転倒、落下防止対策及びガラスの飛散防止対策を講じる。